



スロバキア共和国 (Slovak Republic)



- スロバキアへの援助総額は2008年までに累計130.42億円。
- 日本は、スロバキアのスムーズな民主化、市場経済への移行支援の観点から、技術協力を中心とする経済協力を実施。
- 1998年12月には、「高速道路建設計画」に対する約110.94億円の円借款を供与(2003年着工, 2007年完成)。

国概要

(基礎データ)

- ・ 面積: 49,037平方キロメートル(日本の約7分の1)
- ・ 人口: 541万人(2015年12月, スロバキア統計局)
- ・ 首都: ブラチスラバ
- ・ 民族: スロバキア人80%, ハンガリー人8.5%
- ・ 言語: スロバキア語
- ・ 宗教: カトリック62%
- ・ 政体: 立憲共和制
- ・ 議会: 一院制(150議席)
- ・ GDP: 866億ドル(2015年, IMF)
- ・ 一人あたりGDP: 15,992ドル(2015年, IMF)
- ・ 経済成長率: 3.6%(2015年, IMF)
- ・ 失業率: 11.5%(2015年, IMF)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

10世紀	大モラヴィア帝国滅亡, ボヘミア王国成立
1620年	ハプスブルク帝国の支配下に
1918年	第一次世界大戦後, チェコスロバキア共和国成立
1938年	ミュンヘン協定により, チェコスロバキア共和国崩壊
1939年	ボヘミア・モラヴィア地方はドイツの保護領に
1945年	第二次世界大戦後, 独立回復
1948年	共産主義体制確立
1968年	「ブラハの春」事件
1989年	民主革命(「ビロード革命」)により共産主義体制が終結
1993年	チェコと平和裡に分離・独立
2000年	OECD加盟
2004年	NATO, EU加盟

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
有償資金協力	110.94億円 (1993-2005年の累計実績)
無償資金協力	0.91億円
	4.61億円 (1993-2005年の累計実績)
技術協力	5.96億円
	14.86億円 (1993-2005年の累計実績)

(注) 上段は～1992年までのチェコスロバキアに対する実績。下段は1993～2005年までのスロバキアに対する実績。

出典: ODA国別データブック2015

青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)

(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。



2016年、経団連ヨーロッパ地域委員会の佐藤義雄・住友生命保険会長及び石塚博昭・三菱ケミカルホールディングス副会長の両委員長が率いる訪欧ミッションがスロバキアを訪問。

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からスロバキアへの輸出	373億円 (2015年度, 財務省)
スロバキアから日本への輸出	180億円 (2015年度, 財務省)
在スロバキア日系企業数	53社 (2015年, 外務省)

人的つながり

項目	人数(直近年)
スロバキアにおける在留邦人数	191人(2016年, 外務省)
在日スロバキア人数	494人(2015年, 法務省)
日本からスロバキアへの留学生数	15名(2015年, JASSO)
スロバキアから日本への留学生数	33名(2015年, JASSO)
日本からスロバキアへの観光客数	9,444人(2015年, JNTO)

日本とスロバキア共和国との協力年表

年代	案件
1993年	スロバキアの分離独立
1998年	有償資金協力: 高速道路建設計画に対するE/N署名
2007年1月	麻生外務大臣のスロバキア訪問
2008年	援助協力に関するワークショップ
2010年	援助協力に関するワークショップ
2011年12月	浜田外務大臣政務官のスロバキア訪問
2016年	日・スロバキア・ワーキングホリデー制度の開始

当時のスロバキアは、効率的な陸上運輸インフラの整備が開発課題となっており、同国政府は合計4ルート、総延長660キロに及ぶ高速道路網整備計画を承認。日本は、南北縦断の高速道路の一部区間の建設を支援。これにより、市内道路における交通渋滞が緩和され、物流の円滑化および経済社会活動の効率化に寄与した。



麻生外相のスロバキア訪問(2007年)時のフィッソ首相表敬。



日・スロバキアワーキングホリデー入書交換。



日本とスロバキアの自治体間では、奈良県野迫川村とヴィソケー・トラ市が姉妹都市協定を締結。ライチャコバー元駐日スロバキア大使夫人が両自治体の間に立ち、両市の交流が始まり、2003年に姉妹都市提携に至った。また、秋田県小坂町とバスカー・シュティアウニツァ市は「協力に関する協定」を締結。両市は鉱山都市としての歴史を共有しており、今後、文化遺産の保護、鉱山学、観光、廃棄物資源のリサイクル等において協力することを確認している。写真は、2010年8月の野迫川村からのスロバキア訪問団の様子。



2016年、在スロバキア大使館はジャール・ナド・フロノム市において開催された日本のポップカルチャー関連イベント「GEEK FEST」において、日本映画上映会、日本に関するプレゼンテーション及び書道ワークショップを実施。同市における初の日本のポップカルチャー関連イベントであり、スロバキアにおける日本のポップカルチャー普及にとつて貴重な機会となった。